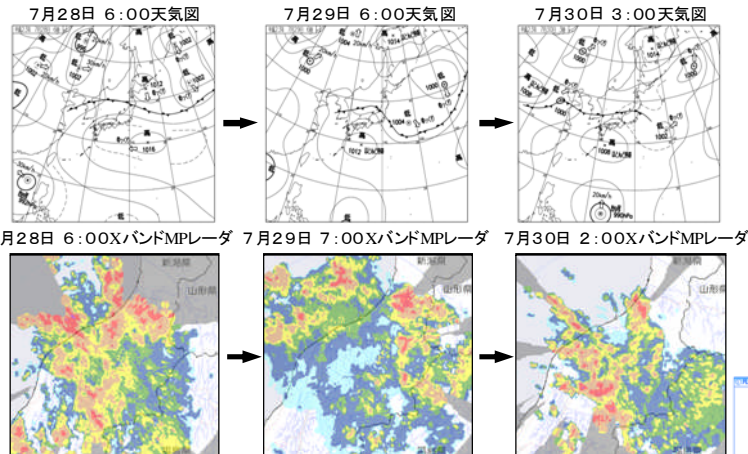


平成23年7月新潟・福島豪雨概要 (阿賀野川管内観測史上最大級10,000m³/sを超える大出水！)

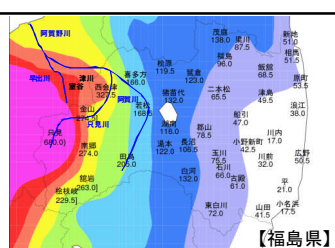
気象状況

平成23年7月27日から新潟県及び福島県では、活発化した前線の影響により、降り始めからの総雨量が福島県只見町で680mmを記録するなど各地で平成16年7月13日水害を上回る大雨となりました。



【新潟県】

7月27日13時～30日24時にかけての総雨量
 阿賀野川流域一室谷(気象庁観測所): 377ミリ
 早出川流域一早出川ダム(その他観測所): 413ミリ
 阿賀川流域一滝坂(国土交通省観測所): 359ミリ
 只見川流域一奥只見ダム(その他観測所): 712ミリ



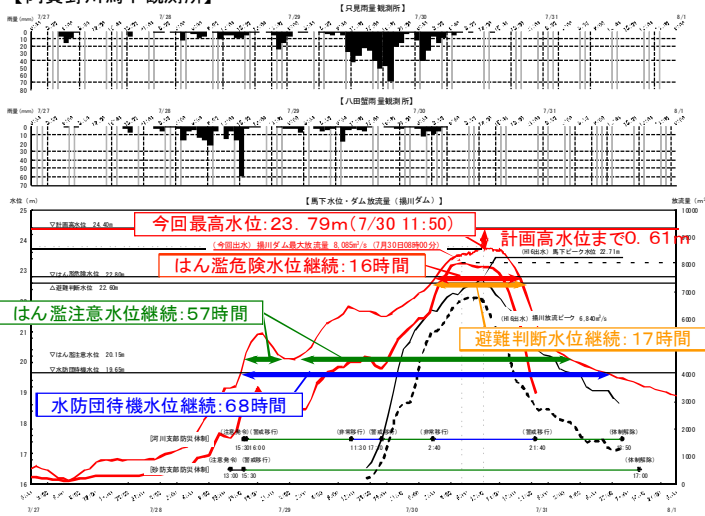
7月27日13時～30日24時総雨量分布図
 ※天気図及び総雨量分布図は気象台提供資料

出水状況～馬下観測所～

7月27日の阿賀野川・阿賀川流域における激しい雨の影響により、阿賀野川馬下観測所の水位が徐々に上昇し、はん濫注意水位(20.15m)を越えました。その後徐々に水位は下がりましたが、只見川流域において激しい雨が降り続けたために、再び水位が上昇し、30日11時50分に最高水位23.79m(計画高水位24.40mまで0.61m)に達しました。

- 水防団待機水位継続: 68時間 ○はん濫注意水継続: 57時間
- 避難判断水位継続: 17時間 ○はん濫危険水位継続: 16時間

【阿賀野川馬下観測所】



平常時に比べ水位が約7m上昇

出水前後の比較

■定点カメラ(新潟市満願寺)



■定点カメラ(五泉市善願)



上空からの様子

■ラジヘリ空撮(新潟市秋葉区金屋付近)

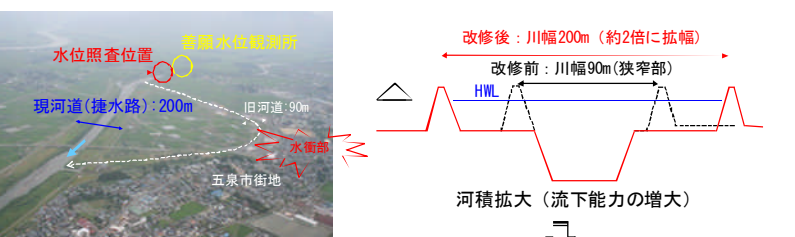


■ラジヘリ空撮(阿賀野市渡場付近)



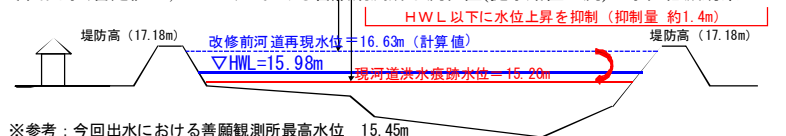
早出川改修事業の効果

水衝部の解消・河積拡大→水位上昇を抑制し、近隣市街地へのはん濫リスクを軽減



効果比較	計画高水位	左岸	右岸	摘要
改修前(旧河道5.0k)	15.98m	16.63m(HWL超過)		洪水痕跡再現計算(1次元不等流)結果による H23洪水痕跡水位調査結果
改修後(整備後4.6k) ※上記と同位置		15.20m(HWL未満)		

今回出水(暫定値: 1,493m³/s)における善願観測所下流位置(捷水路直上流)の水位低減効果



※参考: 今回出水における善願観測所最高水位 15.45m

水位がHWLを超過しなかったことにより、堤防決壊などはん濫リスクを大幅に軽減

被害状況



水防活動・応急対応



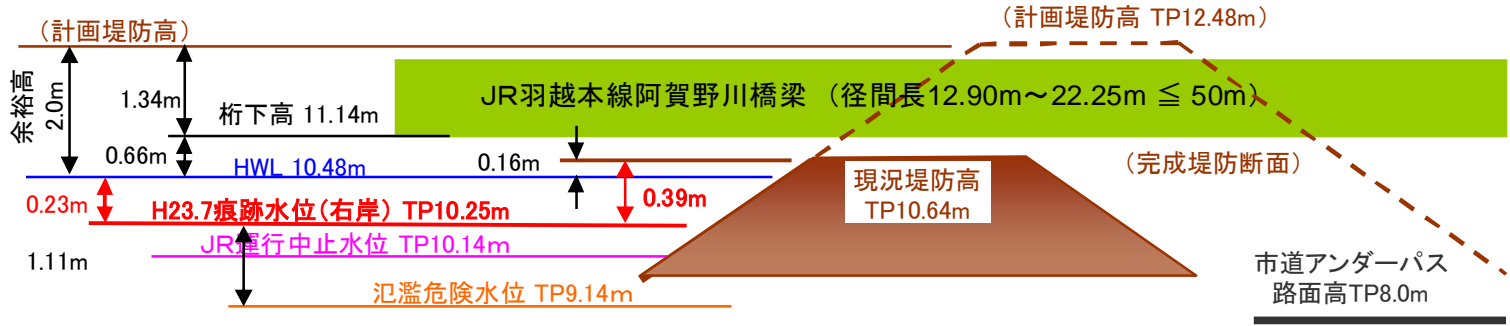
J R羽越本線阿賀野川橋梁の現状

J R羽越本線阿賀野川橋梁は大正元年の完成から99年を経過しているが、桁下の余裕高が足りず、径間長も不足している。

J R阿賀野川橋梁における水防活動状況



JR羽越本線阿賀野川橋梁（右岸部）横断模式図



特殊堤の設置（平成22年度）

下流側完成 (H23. 2. 26撮影)



上流側完成 (H23. 2. 26撮影)

